

物流の効率化・広域化

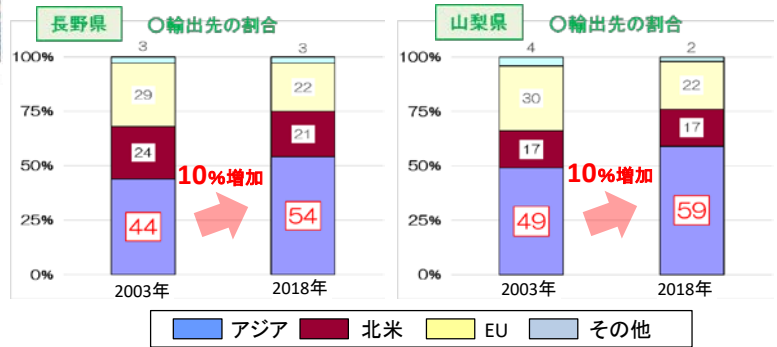
中部横断自動車道

清水港

▼国際拠点港湾との連携



▼山梨県の輸出先別の貿易額シェア



- 2018年の山梨県の輸出先は、アジアが約59%
2003年からの15年間で約10%増加

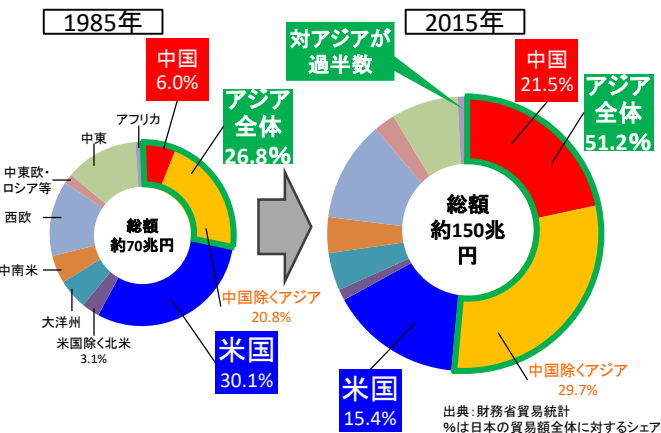
■知事によるブドウやワインのPR



・中国北京の日本大使館で開催した日本産食品PRイベントにて山梨のワインなどをPR (H31.4.27)

- 中部横断自動車道により、日本海側と太平洋側が連結され、広域的な物流体系が形成される

▼日本の相手国別の貿易額シェア



- 2015年の日本全国の貿易額シェアは対アジアが全体の51%、1985年からの30年間で約25%増加

●近年、山梨県の主要輸出地域はアジア

- 山梨県・長野県等の内陸県における港を利用した物流には、品質確保、輸送コスト軽減の観点から高速道路が必要不可欠